

赤城山を活用した教科体験学習 (小学生版)

～国語・社会・体育・図画工作・総合的な学習の時間～

— 赤城山が、教室になる。 —

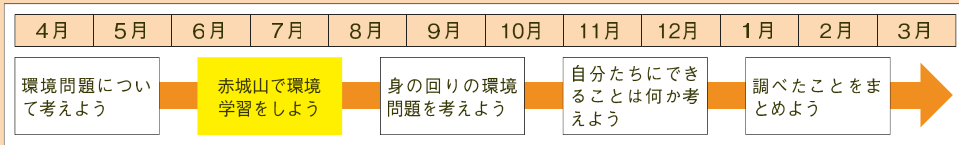


独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家

令和5年3月発行

◆総合的な学習の時間 環境教育年間指導計画例



事前の活動例（2～3時間扱い）

- 1. 目標**
赤城山の特徴や自然について各自テーマを決めて調べることができる。
- 2. 学習活動**
(1)調べた内容を文・絵・図などでまとめる。
(2)調べた内容を友達と発表し合いながら自分の考えをまとめたり、課題を明確にしたりする。

当日の活動例（2～3時間扱い）

- 1. 目標**
森のはたらきについて興味をもち、森と生き物、森と環境、森と人の関わりを地蔵岳登山や覚満淵散策をすることで環境の大切さについて考えることができる。
- 2. 学習活動**
(1)ねらいについて話を聞く。（教員もしくは有料講師）
(2)地蔵岳登山と覚満淵の散策を行う。
※雨天時の活動についてはQRコードを参照。

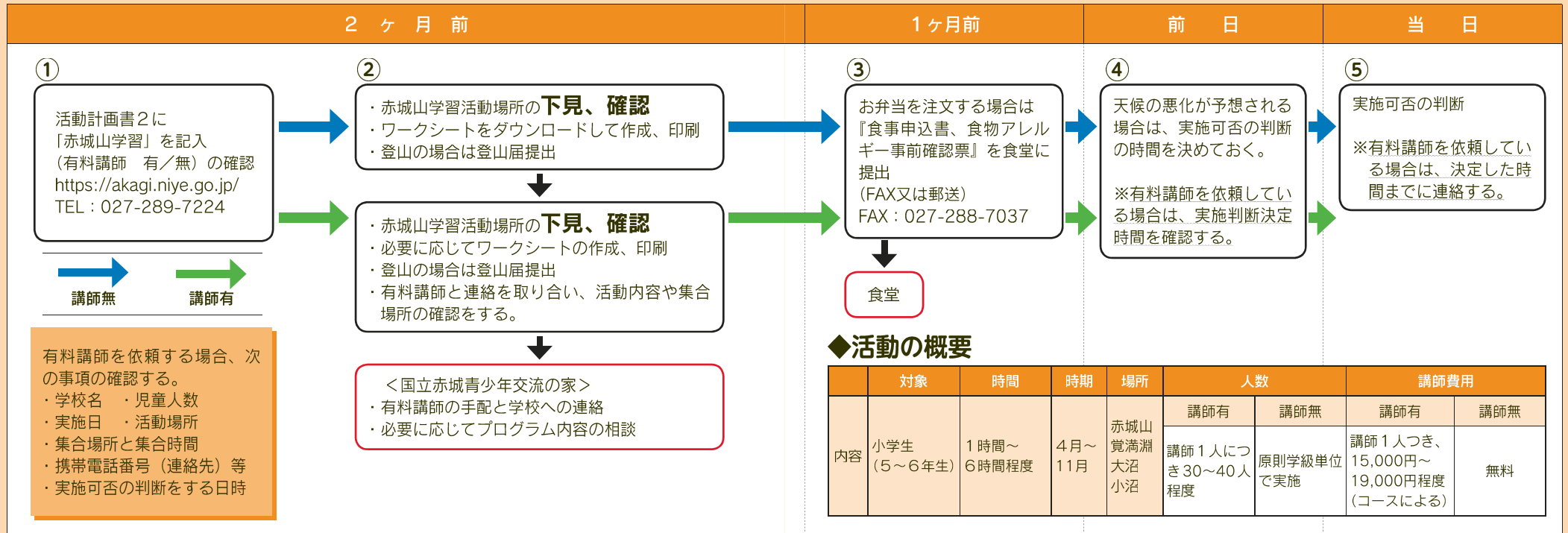
事後の活動例（2～3時間扱い）

- 1. 目標**
学習したことをもとに、国土や赤城山の環境保全について自分たちにできることなどを考え、レポートや新聞などにまとめることができる。
- 2. 学習活動**
(1)これまでの学習活動を新聞にまとめる。
(2)新聞を読み合い、友達と交流することで自分の考えを深める。

◆申し込みから当日までの流れ

「赤城山を活用した教科体験学習」とは、各教科の学習内容を赤城山で学習する活動です。学習した時間を各教科でカウントすることができます。各教科の学習内容については各学校で計画・準備等を行います。有料講師は赤城山登山や覚満淵散策をしながら、植生や環境についてレクチャーをします。

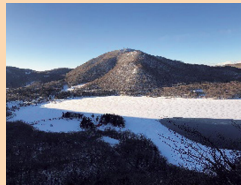
下見及び事前の打合せをおすすめしております。
ご希望される場合は、あらかじめ国立赤城青少年交流の家に電話連絡をしてください。（予約制）
※ご予約について詳しくは「利用の手引き」またはHPをご覧ください。



各教科の実践例

◆教科：国語（5年）

単元名		【書くこと】「日常を十七音で」
目標		赤城山登山や覚満淵の散策を通し、自分の感じた赤城山の自然を俳句に表す。
活動の流れ	事前	・生活の中で感じたことをもとに俳句を作る。 ・季語や表現の工夫について知る。
	当日	(1) 活動の確認 (2) 登山の安全確認 (3) 赤城山を歩く（登山、覚満淵の散策） (4) 目にしたものや風景、感動したものを具体的に書き留める。 また、感動した風景などをタブレットやカメラで記録できる場合は記録する。
	事後	・俳句を推敲し、よりよいものになるよう表現を工夫する。 ・俳句を友達と読み合い、感想を伝え合う。
	場所	地藏岳、長七郎、覚満淵、大沼、小沼等
準備		筆記用具、しおり（ワークシート）、タブレット、カメラ



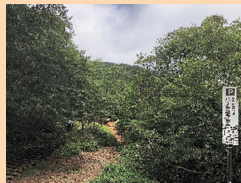
◆教科：体育（5年）

単元名		【けがの防止】「けがを防ぎ、安全に登山しよう」
目標		けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それら表現する。
活動の流れ	事前	登山でのけがはどんなものが多いか、それらを防ぐためにはどのような行動をとればよいか、ブレインストーミングする。
	当日	(1) 活動の確認 (2) 登山の安全確認 (3) グループで事前に予測した危険箇所では回避できるよう声を掛け合いながら登山する。
	事後	・学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 ・学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。
	場所	地藏岳
準備		筆記用具、しおり（ワークシート）



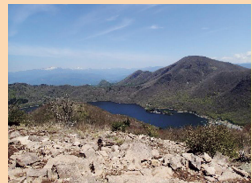
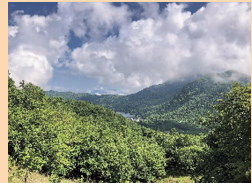
◆教科：社会（5年）

単元名		【わたしたちの生活と環境】「わたしたちの生活と森林」
目標		赤城山を登山したり、覚満淵を散策したりしながら、資料で調べた天然林と人工林の違いを実際に見て確認し、人工林には、枝打ちや下草刈りなどの手入れがしてあることに気づく。
活動の流れ	事前	・天然林と人工林について調べる。 ・森林の果たす役割について話し合う。
	当日	(1) 新坂平の赤城白樺牧場の話（有料講師有りの場合） (2) 登山における安全確認 (3) 登山しながら森の様子を観察する。 ・木の様子、森の様子などタブレットやカメラで記録する。 (4) 覚満淵及びビジターセンターの見学 ・覚満淵や周辺の森の様子をタブレットやカメラで記録する。 ・ビジターセンターを見学する。
	事後	・学習したことを整理し、新聞やノートにまとめる。 ・森林を守るために自分たちができることについて話し合う。
	場所	地藏岳、覚満淵、ビジターセンター
準備		筆記用具、しおり（ワークシート）、タブレット、カメラ



◆教科：図画工作（5年）

単元名		【心に残ったあの時、あの場所】「赤城山をスケッチしよう」
目標		赤城山登山を通して、心に残った風景や場所を思い浮かべ、そのとき感じた気持ちや思いに合う形や色などの造形的な特徴を捉えながら、工夫して絵に表す。
活動の流れ	事前	赤城山について事前に調べる。 (登山予定の山や白樺牧場、大沼、小沼、覚満淵等)
	当日	(1) 活動の確認 (2) 登山の安全確認 (3) 登りながら、気に入った風景や場所などがあれば写真を撮る。
	事後	・感じた思いなどが伝わるよう、形や色、構図など工夫して製作する。 ・完成した作品を友達と鑑賞し、伝え合う。
	場所	地藏岳
準備		筆記用具、しおり（ワークシート）、タブレット、カメラ



◆登山時の服装・持ち物・注意事項

ベアスレイヤー
直接肌に接する下着なので、汗を吸収し外に水蒸気として発散させる素材を選ぶ。綿は汗を逃がさないで登山やアウトドア用には不適。

アウター
一番外側に着る。防水、防風、防風機能が高かったりしたもの。内側の蒸れを外側に拡散する素材を選ぶことも大事。

帽子
春から秋は直射日光を避けるために。寒い時期は防寒用にも。雨天時には防水性のある帽子を雨具のフードと合わせて使うと視界が確保できて便利。

リュック(ザック)
日帰りでも20リットルくらいから、1泊の山小屋なら30リットルくらい容量のもの。軽くて丈夫なものを選ぶ。

手袋
木の枝や岩角などでのケガ防止に。寒い季節は防寒用としても。夏は指先の出るタイプも快適。綿の手袋は濡れると冷たく登山向きではない。

登山靴
軽いハイキング程度でも登山靴。実際に履いてみて合った靴を選ぶ。そして防水性も重要。

レインウェア
濡れていても必ずザックに入れておくように。防水性と合わせて内側からの蒸れを外に逃がす素材を使った登山用の雨具を選ぶ。

ミドルレイヤー
中間着。季節や山域、気温や天候に合わせて、保温性能を使い分ける。フリースや薄手のウールなど。寒い時期などは薄手のものを重ね着することも有効。

ズボン
動きやすい伸縮性のある素材で、動きやすいもの。ダブダブしたものや歩行中に太ももに引っかかるので避ける。夏でも長ズボンを。春秋は保温性のあるものを。

靴下
靴擦れや疲労を防止、軽減するために足にフィットし、クッション性、速乾性のあるものを選ぶ。

必ず準備するもの

登山に行く際、必ず持って行きたい持ち物を紹介します。最初からものを揃えるのは難しいですが、登山は自然相手のスポーツ。危険から身を守るためにも、最低限これだけは準備しておきましょう。

<p>ヘッドライト</p> <p>日帰りでも、なんらかのアクティビティなどで日没後に行動することを想定し、必ず持って行く。出発前の電池のチェックも忘れず。</p>	<p>登山地図・コンパス・GPSアプリ</p> <p>コースを事前に確認し、登山中も自分がどこにいるかを確認するために、地図(国土地理院発行の地形図など)とコンパスは必須。その使い方もしっかり学んでおく。スマホのGPSアプリも現在地確認などに有効だが、バッテリー切れに注意。</p>	<p>携帯電話・予備バッテリー</p> <p>万が一の場合の通信手段、GPS機能、地図、計画書提出、天気予報など、スマートフォンにはさまざまな便利で高度な機能がある。ただしバッテリーの消耗が早いので予備のバッテリーは必須。</p>	<p>水分</p> <p>登山中はかなりの水分を必要とする。また傷口の消毒にも使えるので、水分は多めに持って行く。傷口の消毒のためにはペットボトルの水と、錠で複数の穴をあけたペットボトルのふたを持っていくと良い。水分補給と合わせてミネラルや栄養も補給できるスポーツドリンクやエナジーゼルも。</p>	<p>行動食</p> <p>登山中は、昼食のほかに、水分とあわせてこまめに食べ物から栄養を補給する必要がある。エナジーゼルや高カロリー食など食べやすいものを休憩時などに口に入れるようにする。</p>
<p>非常食</p> <p>万一の時に食べるものなので、食べやすく、消化の良い、高栄養、高カロリー食を必ず準備しておく。エナジーゼル、チョコレート、ドライフルーツなどのほか、非常時用の水分も確保しておく。</p>	<p>健康保険証</p> <p>ケガや急病時など健康保険証があると安心。紛失の心配があればコピーでも。</p>	<p>ゴミ袋</p> <p>ゴミはゴミ袋に入れて、かならず自分で持ち帰るように。また登山が長時間にわたって、途中でトイレがない場合は携帯トイレも持参する。</p>	<p>救急セット(追加)</p> <p>救急医薬品、三角巾、包帯、保温用のシート(ツェルト)、ナイフ、テープなど、救急用に最低限必要なものは個人でもザックに入れておく。</p>	

登山中に必要な水分量(ml) = 自重(体重+ザック) × 行動時間 × 5
 (例) 1,500 (ml) = 自重 (55kg+5kg) × 5時間 × 5
 ただし、気温が高いときなどはさらに必要になります。

登山など屋外活動をする上での注意事項

- 水分補給をこまめに行う。
- 防風、防寒対策をする。
- 石が落ちてしまったら、大きな声で下の人に「落石!」、または「らく!」と叫ぶ。
- 危険を伴う活動ということを自覚する。
- カロリー補給をこまめに行う。
- 計画はゆとりのある日程にする。
- 転倒などが大きくなければいい。

◆報告書など

国立赤城青少年交流の家
 お問い合わせ TEL:027-289-7224 FAX:027-289-7226
 〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

HOME 職員紹介 活動プログラム 教育事業 ご利用方法 交通アクセス お問い合わせ

学びの場所を 変えてみよう! 体験を 生きるカへ!

赤城山が、教室になる。 (小学生版・中学生版リーフレット)

新型コロナウィルス感染症 関連情報

お知らせ

- 2023年02月10日 【緊急】令和6年3月4月の賞状の発行について
- 2023年02月09日 食生活に関する食料品の取扱いについて(お祝い)
- 2023年01月30日 【おかげさまで】キャンプ活動を行いました!
- 2023年01月04日 【緊急】令和6年1月2日の夜更しについて
- 2023年01月04日 ニュースレター「カゴノエ」56(冬号)の発行について
- 2022年12月27日 【お祝い】令和6年12月27日の誕生会開催について
- 2022年12月19日 入札公告のお知らせ(国立赤城青少年交流の家管理棟)

事業報告書 事業リーフレット

報告書は上記より一括及び
 頁ごとにダウンロードして
 ご使用ください。



<https://akagi.niye.go.jp/businessreport/>

◆報告書など

赤城山学習

利用マニュアル(赤城山学習)
 長七郎山
 ぶきやの山
 南沢センター
 赤城山センター
 地蔵谷センター
 クラウド赤城山学習
 赤城山学習資料
 赤城山学習

赤城山学習 中学校用ワークシート
 数科(国語) 赤城山学習(国語)
 数科(社会) 赤城山学習(社会)
 数科(理科) 赤城山学習(理科)
 数科(保健体育) 赤城山学習(保健体育)
 中学校保健体育科の担当手帳(国語版)
 けがカード
 数科(美術) 赤城山学習(美術)

赤城山学習で活用していただける資料です。ダウンロード、編集してお使いいただけます。

- ・利用者マニュアル
- ・教師用資料 (赤城山の自然に関する資料)
- ・各教科ワークシート (中学生版、小学生版)
- ・ピジターセンタークイズ 等



国立赤城青少年交流の家以外でも、ワークシートを活用された場合とアレンジされた場合は当所までご連絡ください。

<https://akagi.niye.go.jp/program/manual/>

◆本リーフレット活用にあたって

国立赤城青少年交流の家 所長 松村 純子

令和2年度、施設の地域を活用した「特色のあるプログラム」の開発が求められ、検討委員会の委員の皆様のご協力のもと「赤城山を活用した教科体験学習(小学生版)」を開発しました。令和4年度は、開発したプログラムの普及に努め、15校の小学生が本プログラムを体験しました。

また、本リーフレット(小学生版)も令和3年度に作成した中学生版と同様に、資料はQRコードで取得できるようにしています。小学生が1人1台タブレットを所有していることもあり、小学生自身が赤城山に興味を持って事前学習に取り組みめることを願っています。

本リーフレットを活用することによって、「体験を通じた様々な学び」の一助になれば幸いです。

赤城山地図（国土地理院発行）



問合せ先：国立赤城青少年交流の家
〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27
TEL：027-289-7224
FAX：027-289-7226
H P： <https://akagi.niye.go.jp>

